

令和7年度 年間指導計画 社会科 1学年

	単元	時数	評価規準		単元	時数	規準
	【地理的分野】 第1部 世界と日本の地域構成 1章 世界の姿 1 私たちの住む地域を統めて 2 いろいろな国の国名と位置 3 緯度と経度 4 地球儀と世界地図の違い	8	・経度と緯度、大洋と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。(知識・技能) ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		2 ヨーロッパ州 ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることで 地域にどんな影響を与えているのか。		・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。(知識・技能) ・他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
4月	2章 日本の姿 1 世界の中の日本の位置 2 時差でとらえる日本の位置 3 日本の領域とその特色 4 都道府県と県庁所在地	8	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。(知識・技能) ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	10月	3 アフリカ州 アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、 地域にどんな影響を与えているのか。	11	・アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べとめている。(知識・技能) ・一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産物にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。(思考・判断・表現) ・モザンビークー経済やヨーロッパ州との関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
5月	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 1 世界のさまざまな生活と環境 2 暮い地域の暮らし～インドネシアでの生活 3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島の生活 4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活 5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活 6 高地の暮らし～アンデス山脈dお生活 7 世界各地の衣食住とその変化 8 人々の生活と宗教の関わり	10	・世界各地で顕在化している地球的問題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。(知識・技能) ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。(知識・技能) ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	11月	4 北アメリカ州 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業 が発達した結果、地域にどんな影響を与えているのか。	10	・多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解し、まとめている。(知識・技能) ・北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現) ・世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	(歴史的分野) 第1章 私たちと歴史 1 歴史学習のはじめに 2 歴史の大きな流れを見つめて 3 歴史の調べ学習をするには…		・年代の表し方や時代区分の意味や意義について基本的な内容を理解している。(知識・技能) ・時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分の関わりなどについて考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・私たちと歴史について、歴史的な見方・考え方に沿った視点を生かしてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	12月	6 オセアニア州 オセアニア州では、他地域との関係が変化してきた ことで、地域にどんな影響を与えているのか。	9	・自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすを、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べとめている。(知識・技能) ・オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパ諸国と密接な関係を築きながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。(思考・判断・表現) ・広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
6月	第2章 原始・古代の日本と世界 1節 人類の出現と文明のふり 1 クレタジーニウム 2 エジプトはナイルの贈物 3 大帝国の出現と交流 4 すべての道はローマに通ず 5 宗教の誕生	13	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、世界の各地で文明が盛れたことを理解している。(知識・技能) ・古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		【歴史的分野】 第3章 中世の日本と世界 第1節 武家政治の始まり 1 武士の登場 2 貴族から武士へ 3 いざ鎌倉 4 馬場の道 5 祇園精舎の鐘の声		・鎌倉幕府の成立、鎌倉時代の文化や仏教などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。(知識・技能) ・武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。(主体的に学習に取り組む態度)
7月	2節 日本の成り立ちと倭の王権 1 日本列島のあけぼの 2 楽浪の海中に倭人あり 3 東アジアの中の大政権 4 東アジアの統一国家 5 地域の歴史を探ろう	8	・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国が国家が形成されていったことを理解している。(知識・技能) ・農耕の広がりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、農耕の広まりによる人々の生活の変化や、大政権による統一と東アジアとの関わりなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・日本列島での人々の生活の変化と、国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	1月	第2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化 1 大陸をまたぐモンゴル帝国 2 海から押し寄せる元軍 3 このごろ都にはやるもの 4 行き交う海賊船と貿易船 5 北と南で開かれた交易	10	・元軍の襲来や、南北朝の争乱と室町幕府、明・明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、元軍の襲来がユーラシアの動向の中での起こったことや、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。(知識・技能) ・モンゴル帝国(元)の拡大の様子や、武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、この時代の武家政治の動きとその特徴や、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・武家政治の変化と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
9月	3節 大帝国の出現と律令国家の形成 1 広がる国際交流 2 あつく三宝を獲え 3 律令国家への歩み		律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、東アジアの文化や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。(知識・技能)		第3節 結びつく民衆と下廻上の社会 1 団結する村、にぎわう街 2 下廻上の世へ 3 今につながる文化の芽生え		・農業などの諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的変動などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。(知識・技能) ・農業・商工業の発達に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	4節 貴族社会の発展 1 木簡と計帳は語る 2 シルクロードにつながる道 3 異月の欠けたこともなしと思えば 4 「以呂波からいはいは」へ		・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。(知識・技能) ・東アジアとの接点や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、都の貴族や地方の農民の暮らし、摂関政治と天平・国風文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、国際色豊かな文化から日本独自の文化が生み出されたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	2月	第4章 近世の日本と世界 1節 結びつく世界との出会い 1 教会と「コラン」の教え 2 中世からの脱却 2 太陽の沈まない国 4 戦国の世に現れた南蛮人	11	・ヨーロッパ人來航の背景とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べて、まとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。(知識・技能) ・交易の広がりとその影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、豊かな交易が行われていたアジアにヨーロッパ諸国が進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本・ヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	(地理的分野) 第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 1アジア州 アジア州における急速な経済成長は、地域に どのような影響を与えているのか。	13	・アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえてアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。(知識・技能) ・他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げ、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察し、表現させる。(思考・判断・表現) ・人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		2節 天下統一への歩み 1 天下統一を目ざして 2 近世社会への幕開け 3 城と茶の湯		・織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。(知識・技能) ・統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつけられていったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
					1年間の学習内容の復習	7	・1年間の学習内容と学習への取り組みを振り返り、次年度に向けてよりよい課題を見つくり、改善しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)